



森林総合研究所で

つくば、ホンモノ!
TSUKUBA, HONMONO!

森林総合研究所 野生動物研究領域 主任研究員
Junco Nagata 永田 純子さん

さいたま市生まれ。東京理科大学基礎工学部卒業、北海道大学大学院で博士号(地球環境科学)取得。カリフォルニア大学パークレー校を経て、現在は森林総合研究所で遺伝学的アプローチから野生動物を研究。

つくばで輝く
女性研究者

森林総合研究所で
野生動物の研究に
没頭する永田純子
さん。DNA解析など
遺伝学的アプローチ
から野生動物を研究
する。自然の魅力を
伝える活動にも
取り組んでいる。

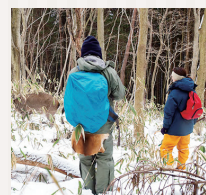
野生動物の遺伝子分析など科学的根拠に基づいた「保護管理」が主な研究テーマ。全国的に増えすぎたニホンジカが引き起こす農林業被害を防止するための管理体制の基礎データとなる個体群の遺伝子分析ほか、アマミノクロウサギなど絶滅危惧種の糞に残るDNAを解析することで生息数推定法の開発なども行っている。フィールドワークが好きですが、研究室でのDNA解析も重要な仕事。動物と人間が共存できるような生態系のバランスを大切にしたいですね。

大自然に魅了され 野生動物の研究へ



趣味のマウンテンバイクと家族

「陸上から理系女子へ」
幼少の頃は、実家近くのザリガニ釣りやカブトムシ捕りなどに忙しい生き物好きだった。中学・高校では陸上部で活躍し、オリンピック出場まで夢見ていたがケガで断念。大学1年の時に過ごした北海道長万部で地球環境の研究に興味を持った。北海道の大自然に魅了された時の感動が、今の仕事につながっています。大学ではバイオテクノロジーを学び、最先端のゲノムプロジェクトにも参加。卒業後に「憧れの地」となった北海道で大学院に進み博士号を



ニホンジカのフィールド調査

取得。その後、日本学術振興会海外特別研究員として渡米し2年間研究に没頭する中、シェアハウスで出会ったアメリカ人と結婚。公私ともに充実の日々を過ごした。「研究に集中できた上に苦手な英語も上達したのは主人のおかげです」。

つくばの暮らし

結婚後しばらくは日米で離れての生活が続いたが、現在は活発な男の子2人と夫婦の家族4人でつくば市に住んでいる。自身も暮らしやすいと感じているが、生物学者として都内の大学に通勤する夫もつくばは外国人も多くフレンドリーな雰囲気。自然も豊かで暮らしやすい街と満足しているという。趣味のマウンテンバイクでは、25歳の時にケニアの大会に初参加してから現在まで各地の大会に参加している。「ハードなスポーツなので生傷が絶えませんが、私を支えてくれる大切な趣味なんです」と笑顔。